

法人名 (公財)山梨県子牛育成協会

公益法人用

【法人の概要】

代表者名	大熊 規義	所管部(局)課	農政部畜産課	
所在地	山梨県北杜市小淵沢町大平10061	電話番号	0551-36-3200	
ホームページURL	http://www.yatuboku.jp	E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	10,000 千円	設立年月日	昭和52年3月23日	
主 な 出 資 者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	山梨県	10,000 千円	100.0 %
	2		千円	0.0 %
	3		千円	0.0 %
	4		千円	0.0 %
	5		千円	0.0 %
	6		千円	0.0 %
	7		千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)	千円	0.0 %
	その他		千円	0.0 %
	合 計		10,000 千円	100.0 %
設 目 経 緯 概 況 等	<p>設立目的: 山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。</p> <p>経緯概況等: 県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年:(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年:県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年:県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年:堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年:周年預託業務を開始。 平成18年:県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者となっている。 平成23年:公益財団法人に認定された。</p>			

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H25年度	H26年度	H27年度
事業1	八ヶ岳牧場業務 県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農有家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。 肉用牛の改良増殖業務。 家畜排泄物処理業務等	215,284	221,828	213,431
事業2	まきば公園業務 めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	16,707	18,039	18,404
事業3				

【組織】

4月1日現在の人員	年度	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
		職 員	プロ パー 員	派遣 兼 務 員	県 職 員 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 員	派遣 兼 務 員	県 職 員 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 員	派遣 兼 務 員	県 職 員 O B	そ の 他
役員	理事(常勤)	1			1	1			1		1			1		1
	理事(非常勤)	8		2		6	8		2		6	8		2		6
	監事(常勤)	0				0					0					0
	監事(非常勤)	2				2	2				2	2				2
	評議員	5				5	5				5	5				5
計	16	0	2	1	13	16	0	2	1	13	16	0	2	1	13	
職員	管理職	2	2			2	2				2	2				
	一般職員	19	19			19	19				19	19				
	臨時職員	2				2	2				2	2				2
	非常勤職員	0				0	0				0	0				0
計	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2	
プロパー職員の年齢構成 (H29. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計					平均年齢		平均年収	
	男性		4	3	4	7	1	19	役員 常勤	※			(千円) ※			
	女性		1		1			2	職員 常勤				(千円) 5,513			
	合計	0	5	3	5	7	1	21								

※常勤役員は、1名のみのため個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
正味財産の状況	基本財産運用益	150	150	91	△ 59
	受取会費・受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	209,886	219,991	215,296	△ 4,695
	自主事業収益	44,791	46,798	47,851	1,053
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	1,877	1,491	1,468	△ 23
	経常収入 計	256,705	268,430	264,706	△ 3,724
	事業費	243,608	257,626	240,556	△ 17,070
	うち人件費	137,287	142,571	136,385	△ 6,185
	管理費	11,964	11,937	11,659	△ 278
	うち人件費	10,843	10,535	10,367	△ 168
	経常支出 計	255,571	269,563	252,215	△ 17,348
	当期経常増減額	1,134	△ 1,134	12,491	13,624
	経常外収入	0	0	4,920	4,920
	経常外支出	△ 9,592	△ 8,521	249	8,769
	当期経常外増減額	9,592	8,521	4,672	△ 3,849
	当期一般正味財産増減額	10,726	7,387	17,162	9,775
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
正味財産期末残高	55,364	62,751	79,913	17,162	

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
財務状況	流動資産	39,885	54,857	46,595	△ 8,262
	固定資産	97,452	98,686	104,673	5,986
	資産 計	137,337	153,543	151,267	△ 2,276
	流動負債	9,412	16,926	32,888	15,962
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	72,561	73,866	38,466	△ 35,400
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	81,973	90,792	71,354	△ 19,438
	正味財産	55,364	62,751	79,913	17,162
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	
うち特定資産への充当額	10,795	12,056	23,389		

(単位:千円)

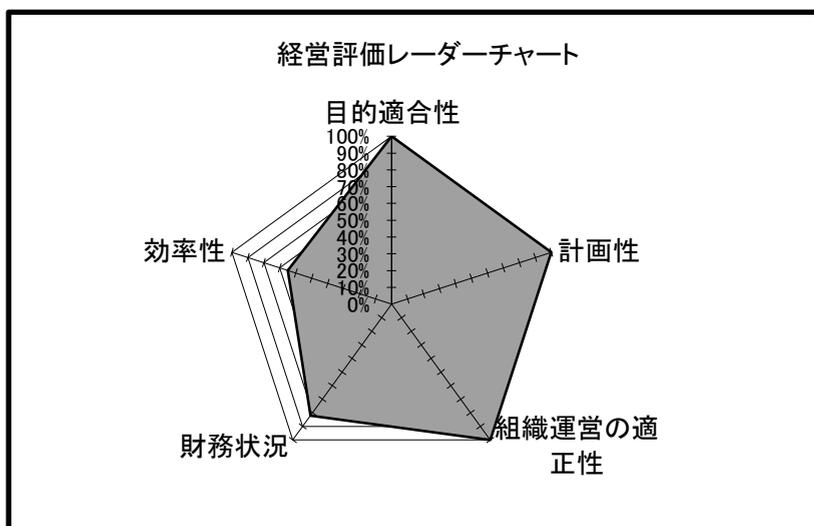
項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費委託金	137,287	142,571	136,385	△ 6,185
	人件費以外の委託金	72,599	77,420	78,910	1,490
	委託金 計	209,886	219,991	215,296	△ 4,695
	県支出金 計	209,886	219,991	215,296	△ 4,695
	県の財政的関与の割合(%)	81.8	82.0	81.3	△ 1
	県貸付金残高				0
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	該当なし
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	該当なし
委託金	指定管理者制度に基づく管理委託料(県立八ヶ岳牧場および県立まきば公園) 215,296千円
債務負担行為	「県立八ヶ岳牧場」および「県立まきば公園」の管理は5年間の債務負担行為に基づき、管理委託料として執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	12	100.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	12	100.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	46	82.1%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	20	13	65.0%
合計		21	112	95	84.8%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	農家家畜の受託と肉用牛の改良および生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興を図るため、指定管理者として基本協定に基づく業務を適正に行い、事業目的を達成している。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。 また、計画と実績の比較分析を行い、業務・経営の改善に努めている。
組織運営の適正性	指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。 また、平成23年からは公益財団法人として認定され、内部監理体制を適切に行い、透明性の高い健全な運営に努めている。事業活動内容、財務状況についてはホームページで公開している。
財務状況	一般正味財産増減額は3期連続プラスである。また、当期末の流動比率は141.68%であり経営の安全は保たれている。当期経常増減額の増加分は牧草収穫作業機の取得に充当し県有備品の更新を図り、公益法人として収支相償を基本とした健全経営に努めている。
効率性	従前より管理運営の効率化を図ってきたところである。施設等利用率は非常に高く施設が効率的に活用されている。人件費総額は減少しており、計画的な人員管理により人件費総額を抑制していき経費削減や更なる利用者数の確保に努め、効率的運営を進めている。
総合的評価	実施事業は全て公益事業に認定され、設立目的は適切に達成しており事業の公益性は高い。 優良素牛の売却等により甲州牛の生産基盤強化に寄与するとともに、受託家畜の受入増頭・繁殖管理の充実等により利用者のニーズに応えている。利用料収入は増加しているが、自給飼料の安定確保により購入飼料費等の増加を抑制し経費削減に努めている。今後、施設や車両機械の老朽化が懸念され計画的な更新が必要である。



対応策	八ヶ岳牧場業務については、肉用牛の改良増殖を進め、衛生対策の充実と受精卵移植等の繁殖に関するサービスを充実し、優良肉用牛の安定供給と受託頭数の安定確保に努め、公共牧場としての生産性向上を図る。まきば公園業務については、園内美化に努め、新規イベントの企画や内容を充実し利用者数の拡大を図る。牧場と公園の連携による効率的な運営と利用者サービスの向上を図り、ホームページ等により情報を積極的に公開する。施設・車両機械等については、計画的な更新を県に要望していくとともに、特定資産取得資金を積立し、公益事業実施のために必要不可欠な車両等を更新していく。 公益財団法人として、適正な法人運営とより一層の合理的経営を進めていく。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従い、適切に受託事業等を実施しており、目的に適合している。 目標も継続して達成できていることから、目標の見直しを検討していく必要がある。
計画性	経営計画・年次計画に基づいて、適切に管理運営が行われている。また、事業分析により業務改善に努めており、今後も適切な管理運営を継続する必要がある。
組織運営の適正性	組織運営とリスク管理に必要な体制整備が行われ適切に運用されている。事業活動や財務情報もホームページ上で公開されている。引き続き、業務上のリスクの共有・対応方法の定期的な検討や、法人事業・イベント等の積極的な情報発信等、適正な組織運営に努める必要がある。
財務状況	H27年度財政的援助団体等の監査において、賞与引当金の計上を固定負債から流動負債にするよう指導があり、科目を変更したことで流動比率が大幅に減少したが、会計処理上の扱いであり経営には影響がないと考えられる。引き続き、効率的な事業執行と収益の確保により健全な経営を維持していく必要がある。
効率性	計画的な人員管理により人件費総額が前年度よりも減少している。 一方で、牧場の預託要望増加により、特に冬期預託は施設の定数を越えた受託を実施している状況であるため、早急に施設整備等実施し、定数の上限を伸ばす必要がある。
総合的評価	協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力・意識水準から、適正な法人運営が行われていると評価できる。今後も、より一層の合理的経営に努め健全な経営を維持するとともに、施設管理者としてさらなる利用者の増加等にも努める必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>A</p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>B</p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>C</p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>D</p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
※ ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度は、賞与引当金を固定負債から流動負債に計上換えしたことから流動比率が下がり、財務状況の評価が下がったが、指定管理委託料により事業費が確保されていることや自主事業収益が増加していることなどから、安定した経営を維持している。 ハケ岳牧場は、預託頭数の維持に向け、施設の効率的な使用や保守管理等に努めるとともに、まきば公園についても、ハケ岳地域の観光推進や畜産に対する県民理解醸成のため、利用者満足度の向上や集客に引き続き努める必要がある。 今後も、経営計画に基づき、経営の健全化とサービスの向上・施設利用実績の向上の両立に取り組んでいく必要がある。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> ハケ岳牧場、まきば公園の指定管理者として今後も基本協定に基づいて適切な管理運営を行っていく。 「出資法人の経営健全化プラン」に基づき、公益財団法人として、適正な法人運営とより一層の合理的経営を進めていく。 ハケ岳牧場については引き続き、預託頭数および肉用子牛販売頭数の維持向上に努めるとともに、農家巡回や繁殖サービスの充実を進め、利用者の満足度の向上を図っていく。 まきば公園については、地域の関係団体との連携を図り、新たなイベントの検討等を進めながら利用者数の向上、満足度の維持向上などに引き続き取り組んでいく。
--